



服装は、ゼブラシャツは着用せず、白のポロシャツまたは黒のジャンパー、審判用スラックスを着用。

ゲーム前の確認事項

- ① ダウン標示器(ダウンマーカー)、ヤードチェーン(予備も)クリップ(2個)、ゲインマーカー(赤マット)が揃っているかチェックする。
- ② チェーンルーベスト、帽子(黒無地)をポジションに合わせて指示された物を着用する。
- ③ チェーンの長さ10ヤード(ロッドの内のり)と実際にフィールドに引かれてある10ヤードを実際に比べチェックする。
- ④ チェーンの中央に、テープでマークがあるかチェックする。
- ⑤ チェーンにねじれがないか、スティックとのつなぎ目が弱くなっていないかチェックする。
- ⑥ チェーンクリップは、外れやすくなくないか又金属部が錆びていないかチェックする。
- ⑦ 異常があれば、担当審判(H)に報告し、交換・修理等適切な処置を行う。

ゲーム中の確認事項

- ① マナー・心構え
 - 1) 試合開始から終了まで「審判団の一員」であることを認識すること。
 - 2) プレーに熱中したり、観客みたいにならないこと。
 - 3) 選手のプレーや、審判の裁定にいかなる意見、批評も言わないこと。
 - 4) カメラや観客に見られていることを意識し、姿勢よく、キビキビと行動すること。
 - 5) 私語は慎むこと。
- ② 基本動作
 - 1) フリーキックの時は、レシーブチーム陣20ヤード付近でリミットライン(4ヤード)の外側で装具を倒して待機していること。その際、チェーンルーはフィールドに座り込んだりしないこと。
 - 2) 反則が発生しているかもしれない。勝手に動かないこと。特に、ロングゲインやパント時に勝手に動きたくなるが、Hの指示にだけ従うこと。そして、指示されたら敏速に動くこと。
 - 3) チェーンはピンと張って、「ねじれ」や「たるみ」がないこと。
 - 4) ダウン数の交換は、新しいスポットに立ち、ボールの先端に合わせて変えること。
前のスポットで次のダウンに変えたり、歩きながら変えないこと。
New Spot New Down
 - 5) 反則発生時の注意: Hが罰退距離を歩測し、間違いがないと確認後ダウンマーカーは次のスポットへ移動する。Hと一緒に移動しないこと。
 - 6) クォーターチェンジの時は、Hが「ダウン・距離・ボールオン・クリップ」をサイドラインでチェックした後R/Uと3人で再確認し、サイドラインに戻ってからクリップを中心に入れ替わり。次のスポットに移動する。決して勝手に動かないこと!
 - 7) 相手陣10ヤード以内で第1ダウンを獲得した場合は、ダウンマーカーのみ使用し、チェーンはリミットライン(4ヤード)の外側に倒しておくこと。ゲインマーカー(赤マット)は使用しない。
 - 8) PATの時は、ダウンマーカーを「1」にして3ヤードライン上に立つこと。
チェーンは目立たないように、リミットライン(4ヤード)後方に倒しておくこと。
- ③ 安全第一
 - 1) プレーヤーが近づいてきたら、チェーン・ダウンマーカーは倒して逃げる。持って逃げると危険。目安は、ハッシュマークに近づいたら逃げる用意をし、9ヤードマークまで来たら、倒して逃げる。
 - 2) 倒す場合は、決してHの方に倒さないこと!
- ④ その他
 - 1) 試合中チェーンの故障またはコーチ・プレーヤーが移動の障害になる等問題がある時はすぐに審判員に報告すること。
 - 2) 水分補給は、行動に支障がないように適宜行う。
 - 3) 最終試合終了後、指示された場所に器具・帽子・ベストを收容する。

★第1ダウンセットの手順(図-1&2)

図-1

- 1) ダウンマーカーは、Hがボールの位置を示すダウンフィールド側(ディフェンス側)の足の外側に合わせて、サイドラインから2ヤード下がったコーチングエリアの境界線上に置く。
- 2) チェーンはサイドライン上にセットし、Hがボールの位置を示すダウンフィールド側(ディフェンス側)の足の外側に合わせる。その際、引っ張られる方のチェーンマンは、チェーンを踏む。これは、強く引っ張れることによって、チェーンが切れるのを防ぐためである。
- 3) ロッドの先端に攻撃方向を示す矢印が付いている場合は、その方向に注意すること。
- 4) ゲインマーカーは、シリーズ更新線サイドライン上フィールドの外側に置く。
- 5) クリッパーは、後ろ側スティックに近い方のヤードラインの後方に取り付ける。
- 6) クリップの取り付けを終え、ダイヤルを回して、クリップを取りつけたヤードを表示する。
- 7) 「クリップ40、OK！」(ヤード数は例)と大きな声でチェーンクルーに知らせる。

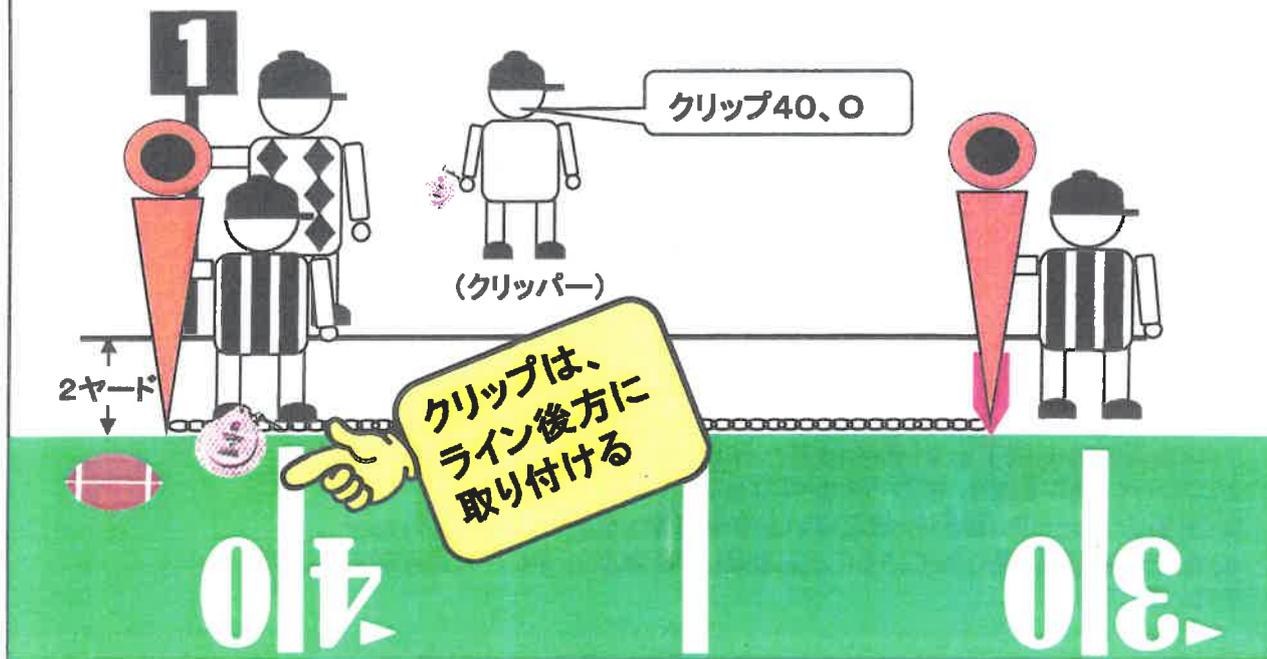
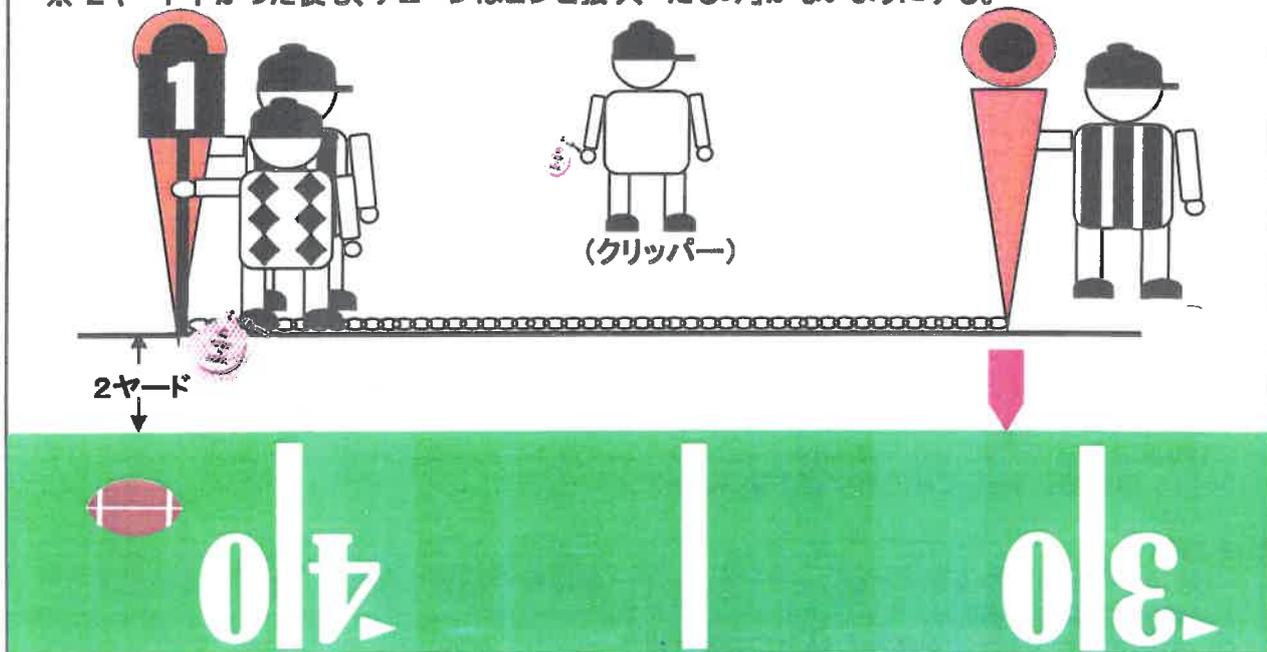


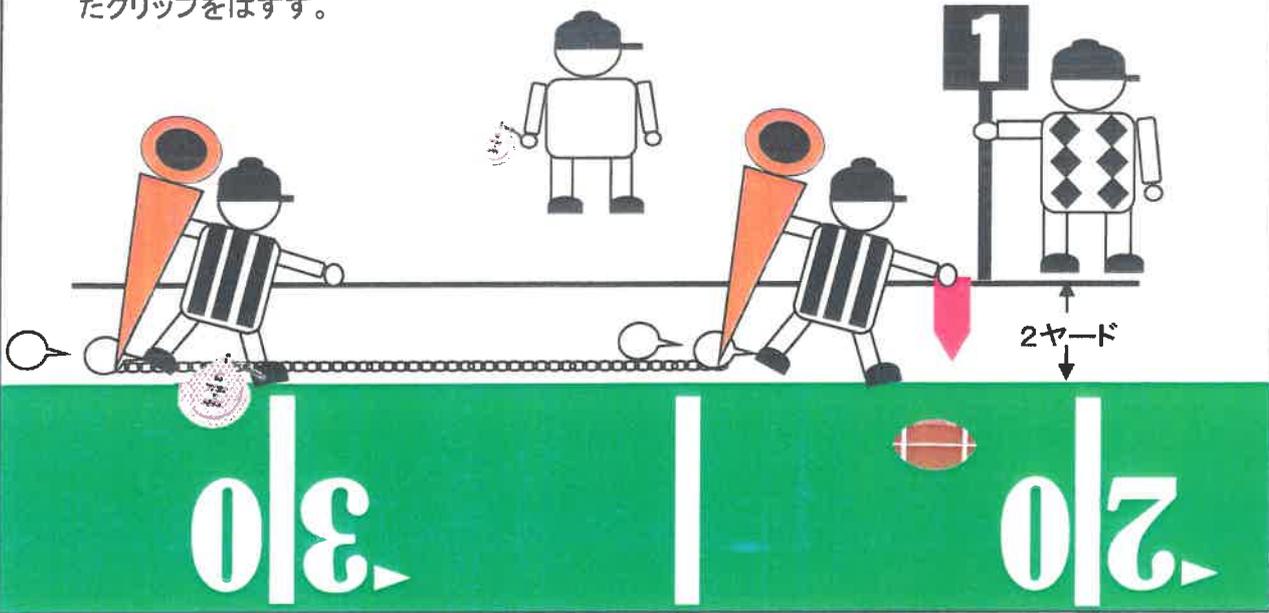
図-2

- 8) 「クリップ40、OK！」を聞いたら、チェーンマンは、ダウンマーカーがある2ヤードラインまで下がりダウンマーカーの内側を通過して、後方に位置する。この時ダウンマーカーは左右に動かない！
 - 9) 王子・EFFでは、クリッパーは2ヤード後方のポイント迄チェーンを持って下がる。ポイントが無い他のフィールドでは、ヤードラインの延長線であろう2ヤード後方迄チェーンを持って下がる。
- ※ 2ヤード下がった後も、チェーンはピンと張り、「たるみ」がないようにする。

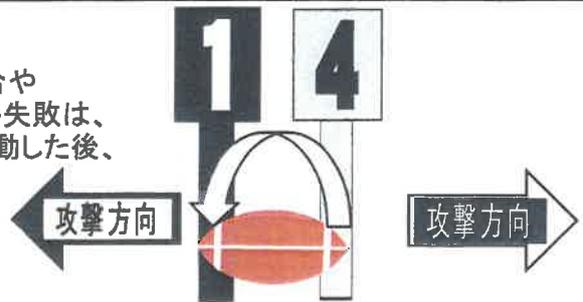


★同一チームが第1ダウンを獲得した場合

- 1) ゲインマーカー(赤マット)は、前方のスティックを持っているチェーンマンが拾って移動する。
- 2) 新しいスポットにチェーンがセットされたら、「第1ダウンのセット」と同じ要領でセットし、クリッパーは持っているクリップを取りつけ、チェーンが2ヤード下がった後、前の位置に付いていたクリップをはずす。

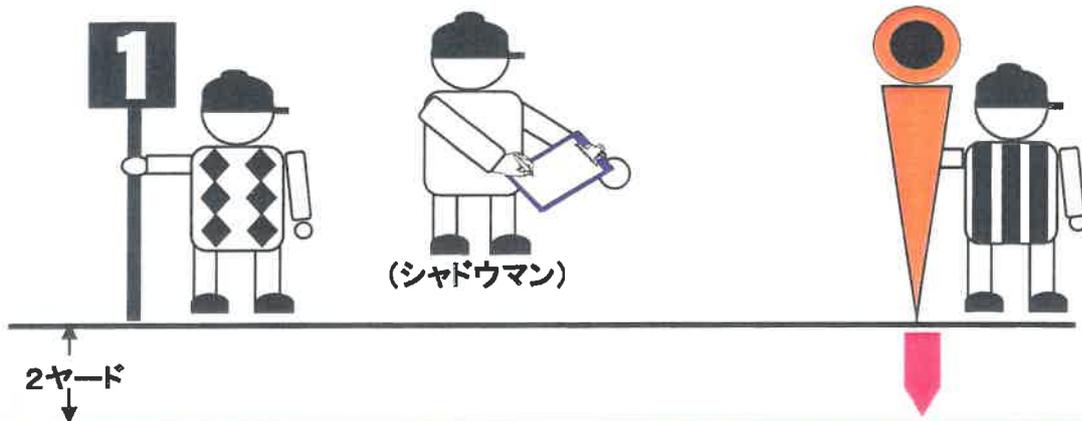


- 【ボールの位置の基準は、攻撃方向の先端】
 第4ダウン、パスが不成功で攻守が変わった場合や
 スナップ位置が20ヤード以上のフィールドゴール失敗は、
 右図のように、ボール1個分ダウンマーカーを移動した後、
 チェーンをセットする。



★シャドウチェーンの動き

(X2・X3の試合では、「シャドウマン(記録係)」のみ)



- 1) 3名で2ヤード後方で行う。1人はスティック、1人はダウンマーカー、1人はシャドウマン。
- 2) メインチェーンと同時に動き、位置はメインチェーンに合わせる。ズレがないようにすること。
- 3) シャドウマンは、ボックスマンの後ろ側で、「チェーンクルー用メモ」用紙に、毎プレー「ダウン距離・残りヤード、ボールオン」の位置をLの指示により記入する。